

懲罰委員会

したいがために個人的問題を議員の立場を利用して一般質問の場を使って公開質問状を取り上げ回答を迫った事。

② 議会議員の立場を利用して、神聖な議会の場を個人の政治活動に使った行為。

③ 議会議員として個人的問題にもかかわらず、執行権に介入した行為は、議会の立場をおとしめる行為。

④ 教育委員会の独立性、中立性、公平性、合議性を基本とした独立行政機関の結論を理解せず、執拗に公開質問状の回答を再三再四にわたり文書を送付したり、又面接をした。それによって、教育委員に脅威を与えると共に圧力と受け止められた事は事実で、精神的に苦しい立場に立たせた。更に当事者が総務委員長、総務委員の立場であるだけに正常な教育委員会運営に支障を来たしかねない事態と感じさせた。

以上の理由から、社会的にも議員としての資質、モラルの問題が問われ、議会の品位と名誉を著しく低下させた行為は重大であり、公私混同も甚だしい。「議員は社会全体の奉仕者である」との基本から大きく逸脱しているとの結論に至りました。

よって、木暮弘元議員に対し、今後このような事のないよう深く反省を求めるものであります。

スポーツやゲームを行うにしても一定のルールがありマナーが強く要求される。下仁田町の意思決定を行う神聖な議場における議員の言動は、法的に規制されている。

よって議場での発言は、より慎重に公正な発言がもとめられる。議会が、住民の代表者である議員で構成される議事機関として、その権威を保持し、公正な審議、決定ができるよう、地方自治法及び下仁田町議会会議規則において、自主的に規律を保持し、規制するための権限が与えられている。それが議会の規律と懲罰である。よって「議員木暮弘元」君は、平成24年12月定例会議案審議において、議案第90号（この議案の内容は、議員本人が行政役職を欲しくて、圧力をかけたとされる、調査結果の議案）の質疑討論で、地方自治法第132条、下仁田町議会会議規則第53条第1項（発言内容の制限）第101条（品位の尊重）第103条（議事妨害の禁止）に抵触し、又差別用語を発言したことは、議会の品位、見識、信用、秩序、権威を貶めたこと、誠に遺憾であり懲罰に該当します。よって、議員木暮弘元君に懲罰を適用しました。

懲罰は戒告（文一部議員必携引用）

下仁田町議会議員の不当要求行為等を防止する条例を可決

（目的）

第1条 この条例は、下仁田町議会議員（以下「議員」という。）の政治倫理に関する基本となる事項を定めることにより、議員が政治倫理の高揚に努め、町民に信頼される議会づくりを進め、もって町政の健全な発展に寄与することを目的とする。

（議員の責務）

第2条 議員は、二元代表制の一翼を担う町民全体の奉仕者として、自らの役割と責任を深く自覚し、その使命の達成に努めなければならない。

2 議員は、政治倫理に反する事実があるとの疑惑をもたれたときは、その疑惑を解明し、責任を明らかにするよう努めなければならない。

（政治倫理基準の遵守）

第3条 議員は、次に掲げる政治倫理基準を遵守しなければならない。

- (1) 二元代表制の一翼を担う町民全体の奉仕者として、法令を遵守し、議会及び議員の品位及び名誉を損なう行為を慎み、不正の疑惑を持たれるおそれのある金品の授受、口利き、その他の行為をしてはならない。
- (2) 下仁田町職員、一部事務組合

職員、又は特別公務員への職務執行を妨げるような不正な働き掛けをしてはならない。

(3) 下仁田町が資本金、助成金、補助金その他これらに準じるものを出資している法人等若しくは下仁田町が行う許可、又は請負その他の契約等に関し、特定の者のために有利な取り扱い、又は不利な取り扱いをするよう働き掛けをしてはならない。

(4) 下仁田町の職員、一部事務組合の職員の採用、昇任等の人事、又は下仁田町の特別公務員の任命、委嘱等に関し特定な者のために有利な働き掛け、又は不利な働き掛けをしてはならない。

（調査及び審査）

第4条 議長は、議員の政治倫理基準の遵守に関する事項について、調査及び審査する必要があると認めるときは、これを議会運営委員会に諮り、調査委員会を設置し、調査及び審査を行うものとする。

（報告の要求）

第5条 議長は、この条例の趣旨に基づき、必要があると認めるときは、町長及び関係機関又は関係者に対し記録票等の提出を求めることができる。

（委任）

第6条 この条例の施行に関し必要な事項は、議長が定める。

附則

この条例は、公布の日から施行する。

広域圏NEWS

広域議会

富岡甘菜広域市町村圏振興整備組合議会12月定例会が12月19日富岡市議会議会議事堂に於いて開催されました。議案8件が上程され、

全て原案どおり承認可決されました。一般会計の平成23年度決算状況は、歳入決算額は、17億1千万円で前年度と比較すると12.9%増である。県支出金、繰越金は、減少しているが、分担金及び負担金などが増加したものです。

歳出決算額は、16億9千933万円の前年比13.8%の増でした。主には、消防費、衛生費の増によるものです。

また、富岡甘菜広域市町村圏振興整備組合教育委員会委員に吉井誠氏が承認同意されました。

環境議会

12月25日定例会を開催甘菜西部環境衛生施設組合一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格を定める条例の制定について

全会一致で可決
全会一致で可決
平成24年度補正予算（第2号）
全会一致で可決